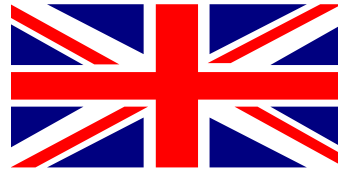


オーストラリアに来たときのこと



イギリス

わたしのお父さんは、イングランドのポーツマスで生まれました。お父さんには、マーティンとニールというお兄さんがいます。ウェールズのカーディフにある大学に入るまで、毎日、友だちとでん車に乗って、学校にいきました。カーディフでわたしのお母さんと会って、けっこうしてウェールズのニューポートに引っこしました。

わたしは1990年、わたしの弟は1993年に生まれました。わたしたちは二かいだての4ベッドルームの家に、すんでいました。家の前は、大きなしずかな川があって、そのむこうには、おかがあって、ひつじが見えました。



ウェールズのニューポートの家

お父さんは、毎日かいしゃに行って、光ファイバーのデザインをしていました。

お父さんにとって、小さいときからとくべつな日は、クリスマスでした。家族がみんなあつまって、クリスマスディナーをたべてプレゼントをこうかんしました。



イギリスのクリスマス。おじいちゃんがターキーを切っているところ。

お父さんは、おんなじかいしゃだけどあたらしいしごとがあったからオーストラリアにきて、そしてチーフエンジニアになりました。

お父さんは、二年前に（わたしたちより三ヶ月はやく）この国にきました。ひこうきの中は、たいくつだったけど、やっとシドニーについたときはうれしかったです。

さいしょは、マンリーの海のそばのユニットにすんでいました。まどからの、けしきは、すばらしいといっていました。でも、イギリスは、ここよりもっとさむいので、あつきになれていませんでした。

イギリスでは、クリスマスは、さむいふゆにあったから、こっちであついなつにあるのがへんにかんじました。



家の前。雪がふった。

ここはイギリスとにているけど、このほうがてんきがいいです。

お父さんは、いつもオーストラリアにきたいとおもっていました。わたしのおじいちゃんが小さいときに、シドニーにきたことがあるからです。

お父さんはあつきになれてきました。ことしの七月にイギリスに行ったとき、イギリスはなつだったけど、さむくかんじました。

お父さんとわたしたちはオーストラリアがとてもいいところだとおもっています。ここにひっこしてきてとてもハッピーです。



オーストラリア

